

## 令和2年

# 委託事業所における労働災害発生状況

当協会に労働保険事務を委託している事業所における、令和2年1月～12月までの労働災害の発生状況がまとまりました。

全体の発生件数は53件であり、その内、業務災害は53件（うち特別加入者6件）、通勤災害は0件でした。前年比でみると14件の減少（建設業と商業・サービス業で顕著）となりましたが、各事業所においては引き続き安全管理へのご努力をお願いしたいと思います。

以下、災害の内容について分析した結果は、図1～図6のとおりです。

① 業種別発生件数では、製造業が21件(39.6%)と全体の4割弱を占め、次いで商業・サービス業15件、運輸業5件、建設業4件の順で多く発生しています。

製造業と第3次産業での災害多発傾向が続いています。

② 建設・運輸・林業などの屋外型産業では、墜落・転落、激突・飛び降りや飛来・落下による災害が目立ちました。特に、トラックの荷台やステップなどからの転落事故が多く見受けられたほか、ハチ刺され事故も2件発生しました。

③ 製造業では、機械・金属製品製造業10件、食料品製造業4件という状況になっています。動力機械（旋盤など）に巻き込まれる事故、グラインダーが破損してかけらが飛来した災害も発生しています。

④ 年代別では、労働力の高齢化が進んでいる

結果、50歳代以上の件数が28件と全体の52.8%を占めており、筋力や反射神経の低下を考慮した作業方法を工夫するほかに、腰痛予防のために重量物を取り扱う際に台の高さを調整するなどの負担軽減策を講ずる必要があります。

⑤ 災害の規模をみると、災害全体に占める休業4日以上災害の割合は、令和2年は46.3%で、前年と同水準で推移しています。

⑥ 昨年も医療現場での針刺し事故が2件発生しており、感染症の発生が危惧される事故であることから注射器や注射針の扱いに十分気を配りたいものです。

災害の概略は以上ですが、熱中症が3件と増加していることから、十分な睡眠を心掛け、しっかり朝食を取り、適度な塩分の補給や休憩の確保などの対策を講じていきたいものです。ご安全に！

